

【担当教員】

光嶋裕介（特命准教授）

竹口健太郎（アルファヴィル一級建築士事務所）

浅井保（助教）

[Teaching Assistant]

加藤亜海（A69） 篠山航大（A69）

■課題概要

ニュー・ミュージアム空間を（面状の構造により）計画する（面状の構造とは、柱や梁による線材の架構ではなく、壁面／床面／屋根面の連続により構造躯体として成立するものをいう）。構造計画に関しては厳密な構造計算による根拠は求めないが、モデル検討及び構造力学的見地に立った基本的な考察を必要条件とする。この構造躯体を構成する材料は石・コンクリート・鉄・ガラス等一般的に流通するものとし、社会的な合意を得られるコストを前提とすること。また、平面計画や建築形において形態的メタファーによる合意を目的とせず、計画する環境（場・空間）に対して身体的な関心と理解を探求すること。美術を展示・鑑賞する空間を熟慮し、そこに「新たな豊かさ」をうみだす建築的手続きを重ね、空間の特殊性を構造・構成・構築概念を手がかりに物理的提案として創出する。

■設計条件

下記のリストより各自が美術家を選択（リスト外からも選択可能）、その作品を展示し、新たな魅力を創造するニュー・ミュージアムを設計する。敷地の選定においては、選択の必然性を前提とすること。その他必要空間を設定し理想的な外部環境・ランドスケープを含めてのニュー・ミュージアム空間を提案すること。延床面積は2000平米程度とする。

【美術家】

(絵画)

- ・ジャスパー・ジョーンズ
- ・マーク・ロスコ
- ・ジャクソン・ポロック
- ・ゲルハルト・リヒター
- ・キース・ヘリング
- ・バンкси
- ・草間彌生

(彫刻)

- ・リチャード・セラ
- ・エドワルド・チリーダ
- ・イサム・ノグチ
- ・アントニー・ゴームリー
- ・アレクサンダー・カルダー
- ・クリスト
- ・オラファー・エリason
- ・ダムタイプ
- ・名和晃平

(写真)

- ・アンドレア・グルスキ
- ・トーマス・デマンド
- ・杉本博司
- ・森山大道

■敷地

各自設定。設定した人物にふさわしい敷地を選ぶこと。

■提出物

A1図面3~5枚程度、完成モデル1:100（またはアニメーション）、必要図面は各自設定し、第三者に十分な理解を得られることを目的とする。



提出された模型やアニメーションの例

■講評会の様子

光嶋スタジオ、竹口スタジオそれぞれで、履修者全員を対象としたスタジオごとの講評を行ったのち、各スタジオで優秀だった履修者を対象に全体講評を行った。



光嶋スタジオの講評



竹口スタジオの講評

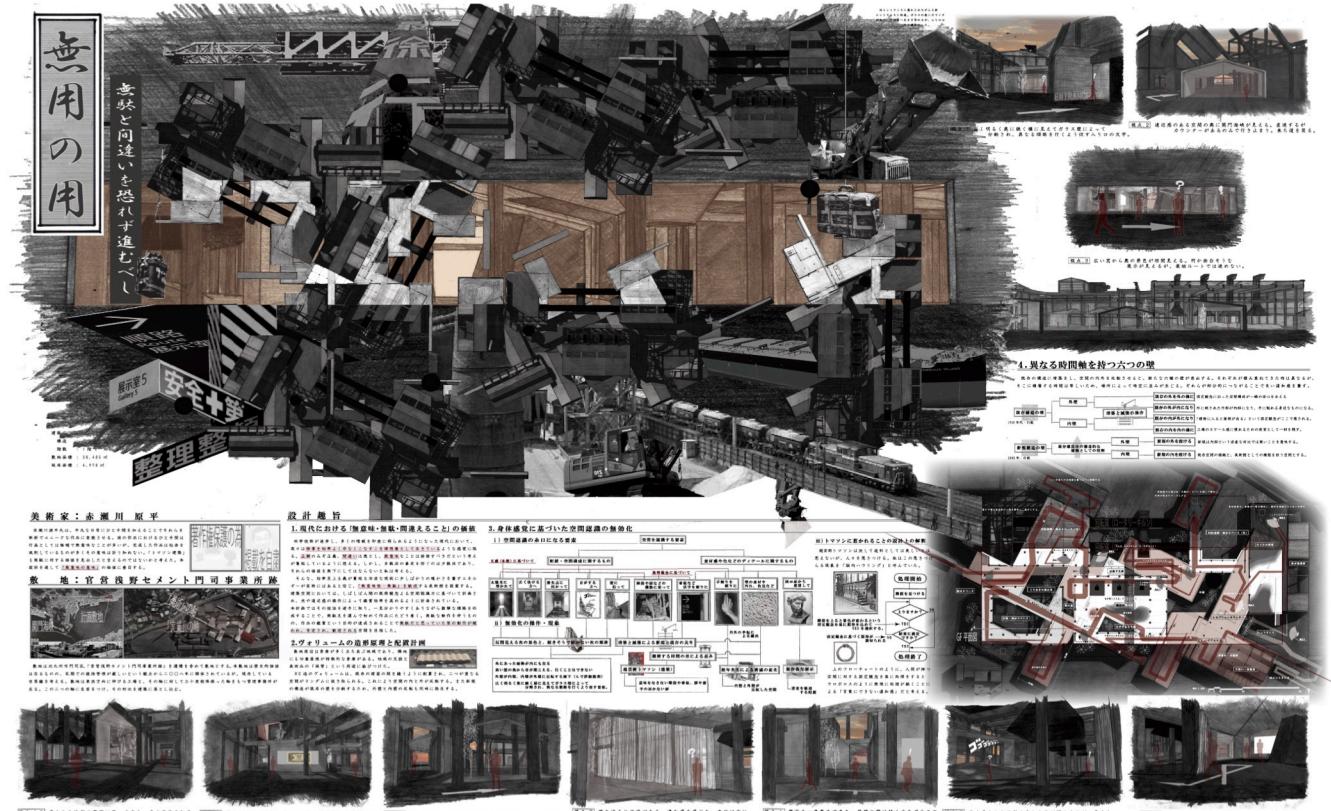


全体講評

無用の用

長央尚真

赤瀬川源平氏の美術館をセメント工場の改築として提案する。物事を効率よくこなすことを理想とする現代に、失敗や無駄を受け入れる美術館を計画する。人の空間認識力に基づく空間計画を逆手に取り、無駄足を伴うものの、作品の鑑賞が達成されることでそれらが報われ、歓迎される。

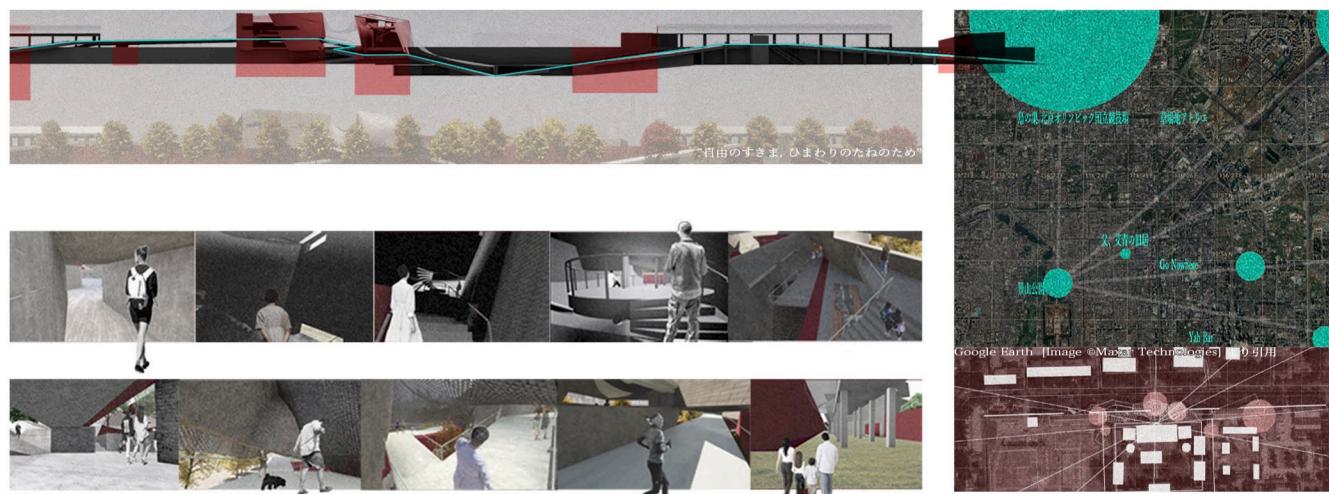


*図中の画像についての情報は、<https://drive.google.com/file/d/1Y4DkIENbW-XQNTsd0K1zAy7LcQQFYHB/view?usp=sharing> (最終閲覧 2022.2.27) 参照

「自由」の隙間—ひまわりの種のために

郝時節

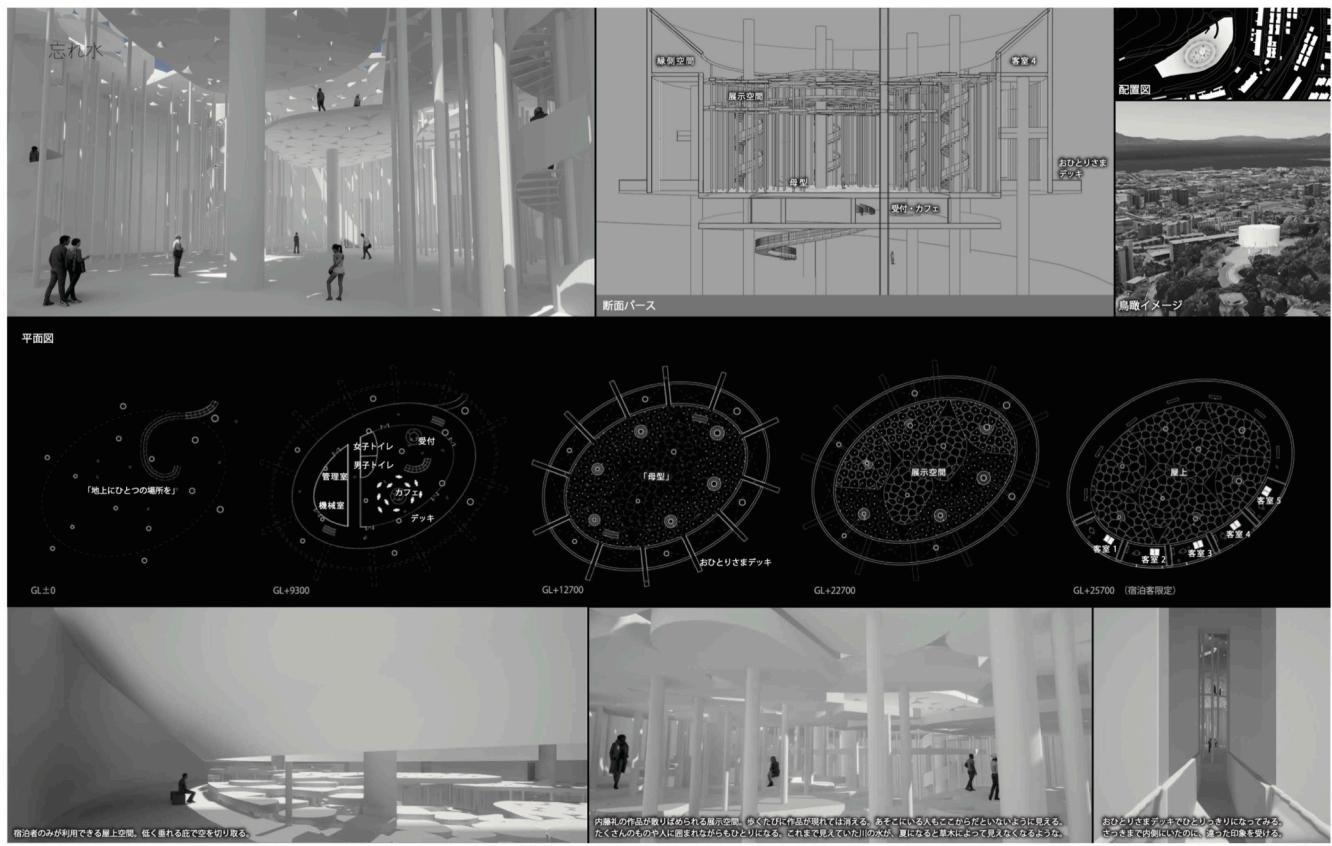
北京の中心にあり、都市の中軸線を対称軸とする景山公園の北門で、アイウェイウェイの作品、ひまわりの種を展示する美術館。アイウェイウェイの芸術の記憶を象徴する場所を軸の中心と結んだ新しい軸線と、古い城壁との衝突を建築によって表し、美術家の持つ矛盾性と感性を建築に込める。



忘れ水

落合光介

美術家 内藤礼の作品を展示する美術館を彼女の出身地である広島市の高台に設計した。彼女の思想や作品分析を通じて建築的モチーフを抽出し、地上から離れてひとりきりになれ、時間を忘れて時間の変化を楽しめる、宿泊できる美術館を「忘れ水」という言葉で表現した。



*鳥瞰イメージの写真は Google Earth (Data © SIO, NOAA, U.S. Navy, NGA, GEBCO TerraMetrics Landsat/Copernicus) より引用

煌めきの水面—環境学習型ミュージアムー

宮本莉奈

季節や時間によって刻々と変化する日本の美しい風景。しかし現代において、その背後には多くの環境問題が潜んでいる。そこで、印象派の代表画家であるモネが描いたアートの力と建築を相互作用させ、この地の環境とともに生きるニュー・ミュージアムを提案する。



煌めきの水面
—環境学習型ミュージアムー

—芸術家—
Claude Monet クロード・モネ
フランス
1840-1926
既存のアカデミズム絵画に対して
光や風景の一瞬一瞬の変化を
切り取ろうとした印象派を代表する画家。
代表作は晩年の連作《睡蓮》など